

次期医療計画の構成案について

| 目次 | | |
|--|---|--|
| 大項目 | 中項目 | 小項目 |
| 第1編 総論 | 第1章 計画の基本的な考え方 | 1 計画作成の趣旨 2 計画見直しの要点 3 計画の位置付け 4 計画の期間 5 計画の基本方針 6 計画の推進 7 その他(計画のスタイル) 8 前青森県保健医療計画の評価 |
| | 第2章 本県の保健医療の概況 | 1 人口等の概況 2 保健医療体制の概況 3 医療機能の概況 4 患者の受療状況 5 県民の意識 |
| | 第3章 保健医療圏の設定と基準病床数 | 1 保健医療圏の設定 2 基準病床数 |
| 第2編 各論 | 第1章 医療連携体制の構築 | 第1節 がん対策 第2節 脳卒中対策 第3節 心筋梗塞等の心血管疾患対策 第4節 糖尿病対策 第5節 精神疾患対策 第6節 救急医療対策 第7節 災害医療対策 第8節 周産期医療対策 第9節 小児医療対策（小児救急を含む） 第10節 へき地医療対策 第11節 在宅医療対策 第12節 多様な役割分担・連携の推進 第13節 歯科医療対策 第14節 その他の保健医療対策 |
| 第2章 地域医療構想 | 第1節 基本的な考え方 | 1 地域医療構想策定の趣旨 2 地域医療構想の位置づけ 3 地域医療構想の期間 4 地域医療構想の推進 5 進行管理 |
| | 第2節 本県の概況 | 1 人口等の将来推計 2 医療提供体制 3 医療従事者の状況 4 拠点病院等の状況 5 自治体病院の状況 6 在宅医療の状況 7 介護サービスの状況 8 患者の受療動向 |
| | 第3節 構想区域 | 1 構想区域、 2 構想区域の設定 |
| | 第4節 平成37年の医療需要と必要病床数 | 1 推計の方法 2 推計の考え方 3 平成37年における医療機能ごとの病床数の必要量 4 平成37年における居宅等における医療の必要量 5 病床機能報告と必要病床数の比較 |
| | 第5節 地域医療構想を実現するための施策 | 1 施策の体系 2 現状・課題及び施策の方向 |
| | 第6節 各構想区域の状況 | 1 津軽地域 2 八戸地域 3 青森地域 4 西北五地域 5 上十三地域 6 下北地域 |
| | 第3章 保健・医療・福祉を担う人材の養成確保と資質の向上 | 第1節 医師 第2節 医師以外の保健医療従事者 1 歯科医師 2 薬剤師 3 保健師、看護師等 4 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 5 管理栄養士、栄養士 6 介護サービス従事者 7 その他の保健医療従事者 |
| 第4章 信頼される保健医療サービスの構築 | 第1節 医療安全対策 | 1 医療サービスの質の向上 2 医療安全に向けた取組みの推進 3 院内感染防止に向けた取組みの推進 |
| | 第2節 健康危機管理体制の構築 | 1 健康危機管理対策 2 医薬品等の安全確保対策 3 薬物乱用防止対策 4 緊急被ばく医療対策 |
| | 第3節 保健・医療・福祉の情報提供の推進 | 1 医療機能に関する情報提供 2 疾病事業ごとの各医療機能を担う医療機関の情報 3 保健・医療・福祉の情報共有 4 医療提供施設における情報の電子化 |
| 第5章 その他健康づくりをはじめとする保健福祉対策と青森型地域共生社会の実現 | 第1節 健康づくり運動の推進 第2節 母子保健の推進 第3節 成人・高齢者保健福祉対策 第4節 障害保健福祉対策 | 1 障害保健福祉対策 2 医療的ケア児への取組 |
| | 第5節 保健医療福祉拠点機能の充実・強化 | 1 保健所の機能充実・強化 2 精神保健福祉センターの充実・強化 3 市町村における機能の充実・強化 |
| | 第6節 青森県型地域共生社会の実現 | 1 保健・医療・福祉包括ケアの構築に向けた取組の推進 2 保健・医療・福祉包括ケアの構築に向けた取組の深化 |
| | | 1 津軽地域 2 八戸地域 3 青森地域 4 西北五地域 5 西北五地域 6 下北地域 |
| 第3編 地域論 | | |